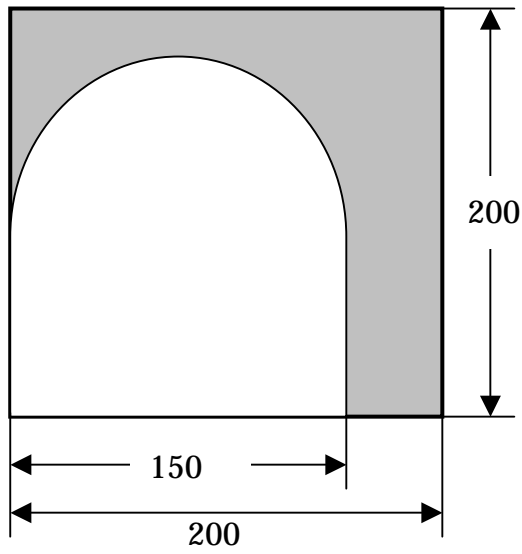


作業分解シート

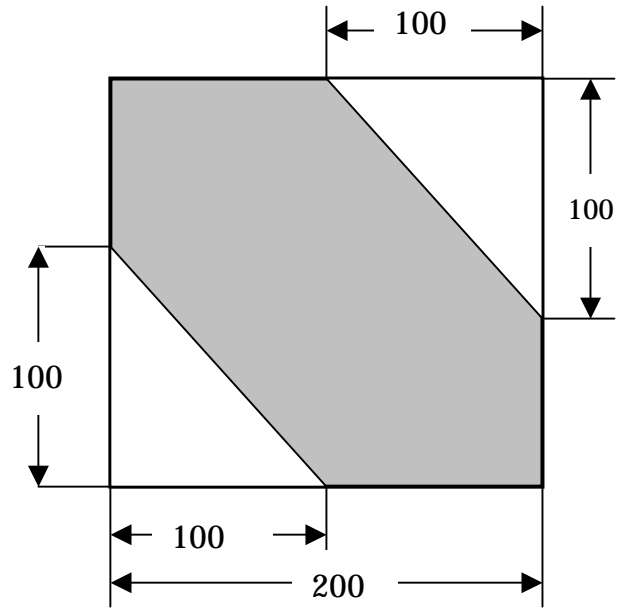
業 業 ブックエンドの製作
 教 材 完成品
 材 料 杉の木板 (200×200×15) 5枚、ビス (12~18本)
 工 具 のこぎり、プラスドライバー、紙やすり、金尺、ものさし、鉛筆
 電動ドライバー、電動糸のこ、作業台

主な手順	急 所	理 由
(1)材料確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木板を5枚渡す (木材が湾曲していたり、ふしがか断部分にかかっているようならば、材料を取り替える。) ・ 木の特質を知る (木の中心にいくほど、赤く堅い) (若い年輪の方は、白く柔らかい) (ふし、年輪の有無を見る) など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ のこぎりで切る部分に、ふしがかからないようにすると、切りやすくなる。 ・ 自分の好きな、木の色や、木目を選べる
(2)のこぎりで切る線をつけ、切る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚の木板(200×200×15)に、好きな形を、鉛筆で線をひく(図1参照) ・ 線に沿ってまっすぐに切る ・ 切り口や角を、紙やすりでなめらかになるように整える ・ できた木板を型にして、もう3枚にも、線をひいて切る ・ 残りの1枚の木板にも、線をひいて、切る(図2参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切る時や組み立てる時の目安になる ・ 形が複雑な場合は、電動糸のこを使う ・ 場合によっては、かんなを使う ・ 仕上げがよくなる
(3)組み立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心をはかり、線をひく ・ ビスをうつ場所に、電動ドライバーで穴をあける ・ 12~18箇所、に、プラスドライバーで、ビスをうつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビスをうつ所の目安になる ・ ビスをうった時、板が割れない ・ 場合によっては、電動ドライバーを使う
(4)仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙やすりで、表面や切り口をなめらかにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なめらかな表面になる

(図1) 木 板 (4 枚)



木 板 (1 枚)



 は、不要部分

(組み立て図)

完 成 図

横から見たところ

